



令和 8 年度      文学部 歴史学科  
学校推薦型選抜 総合問題

〔注 意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。  
受験番号・氏名が記載されていない答案は、無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、問題（2 ページ）および解答用紙（2 枚）からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 満点は 100 点である。
- 8 試験開始後は受験生の退室を認めない。試験終了後、監督者の指示に従い、解答用紙を裏返して机上に置き、問題は持ち帰ること。

1 次の英文を読み、設問に答えなさい。(配点 50点)

(著作権の関係で不掲載)

(Valerie M. Hope, *Roman Death*. 一部改変)

- (1) 全文を和訳せよ。
- (2) 上記の文章は、古代ローマ史について書かれたものである。古代ローマ帝国の宗教事情を踏まえたうえで、下線部の名詞が大文字で書き出されている理由について、考えられるところを、日本語で簡単に述べよ。

2 次の英文を読み、設問に答えなさい。(配点 50点)

It is never easy to fix upon one cause as the origin of a great war, and the war of 1914 was the outcome of several causes combined. For twenty years there had been growing up in Europe a sense of insecurity; the great Powers had become restless and suspicious of one another, and one Power, Germany, was seriously considering the possibility of some bold stroke which would put her beyond the reach of rivalry. Germany, since her victory over France in 1870, had become a very great and rich nation; she had spread her commerce over the world; and she was anxious to create an empire akin to those of Britain and France. But she began the task too late in the day; she could succeed only at the expense of her neighbours. The ambition of Germany was, therefore, one perpetual source of danger.

(John Buchan and Henry Newbolt. *Days to Remember: The British Empire in the Great War*. 一部改変)

(1) 全文を和訳せよ。

(2) 下線部の戦争の日本への影響のうち経済面について、知るところを、日本語で簡単に述べよ。